

広報

あしかわ

3 2004
月号
No.548

冬も楽しいこの大地

県民歩くスキーのつどい（関連記事8ページ）



政 施 方 針

3 月 定 例 会

町議会 3 月定例会は、2 月 17 日から 25 日まで開かれました。定例会初日の本会議で佐藤修助町長が行った施政方針のあらましは、次のとおりです。

平成 16 年 3 月定例会にあたり町政運営の基本方針と主な施策について所信の一端を申し述べ、その推進について町議会をはじめ町民の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

町長就任以来、私は一貫して「住みよいまちづくり」のために、時にはとまどいつつも全力投球の日々を重ね、1 年が経過致しました。

今、時代は、歴史的事業である町村合併という大きな課題に直面しておりますが、先人の知恵とためめ努力によって、営々と育まれてきた郷土の将来のあるべき姿を求め、判断に誤りの無いよう全身全霊をもって取り組んでまいる決意です。

町政の基本的なあり方として、現在から未来を見つめ、守るべきものは何か、変革すべきものは何かについて、町民との共通理解に基づいて、確固とした方向性を持つて町づくりを進めることが大切であるとの考えで、様々な課題に取り組んでまいりました。昨年末、地区座談会を開き、多くの方々から貴重なご意見・ご提言をいただいたところであります。町民の皆様方とじかに触れ合い、地域の

多くの課題を共有できました。これからの行政運営にとつて必要不可欠な要件が持ち寄せられたとの思いが強く、これからの様々に対話の機会を増やしていけるよう努めます。

新年度はこうした基本姿勢に立つて次の 4 点を、重点施策として各般の事業の推進にあたります。

①行政改革の推進と、町民との「協同作業」による新たな公共活動の形成 ②基幹産業としての農林業の活性化 ③生活を支える健康づくりと地域福祉ネットワークづくりの推進 ④上下水道事業などの生活環境整備の促進

町民の意向を大切にし 合併協議に臨みます

2 月 9 日の第 1 回鷹巣阿仁地域合併協議会で、新市の建設計画には、各町の課題・懸案事項を出し合い、今後にわたる残さないうような議論を深めていくことが確認されています。先の議会全員協議会で合併協議に向けた当町の基本姿勢

として次の事項を提示し、確認いただいたところです。○新市建設計画では、将来都市像を実現するために任意協議会で合意した「まちづくりの基本方向」を基準にして、地域の均衡ある発展をめざすこと

○現在、町の発展計画の中で進められている次の 4 つの事項は、確実に完成させたいこと ①公共下水道事業 ②農業集落排水事業

③統合簡易水道事業 ④東根田下杉線道路改良工事（阿仁川橋梁）

今後、細部にわたって 4 町間の事務の検討などが行われることとなりますので、町民の意向を体して協議に臨み、具体的に提案していきたくと考えています。

4 町合併についてのアンケートでは、新市に対する最も大きな期待として「議員・職員の減少等による効率化」があげられています。新年度予算の状況は、合併以前に、そうした取り組みの緊要性を示しており、町職員に対しては率先して行政改革を念頭に組み組むよう、さらに徹底を図ってまいります。また、課の統廃合を含めた役場内の機構改

革、民間委託の推進、補助金・負担金の見直しなどについて検討し、並行して町民の意識改革の醸成にも意を尽くして取り組む考えです。

消防設備については、15 年度から進めている小型動力ポンプ付積載車と消火栓格納箱及びホースの更新・充足を、16 年度でも引き続き進めます。

「公開保育」を 10 月に計画

旧川南保育園を利用して昨年開設した「サポートハウス杉の子園」については、県指定の児童デイサービス事業所としての運営を 16 年度から行うため、その申請を行いました。決定されまうと支援費制度による国県の負担がありますので、財政負担の軽減や指導体制の充実が図られるものと期待しています。

次世代育成支援対策については、計画策定の基礎データを得るためのアンケート調査を実施し、内 78 % にあたる 814 人から回答をいただきました。現在、調査結果の集計と分析を進めており、16 年度中に「次世代育成支援行動計画」を策定する方針で取り組んでいます。

あいかわ保育園については、現在 197 人が通園しておりますが、統合により子育て支援の拠点施設としての通常の保育に加え、延長保育や一時保育などの特別保育事業にも力を注いでまいりました。15・16 年度

の 2 か年事業として、県の保育内容専門講師派遣事業の指定を受けていますが、今年 10 月、この事業の「公開保育」を計画しています。

乳児保育は、定員 8 人で生後 6 か月児から受け入れておりましたが、16 年度からは、生後 4 か月児から受け入れる方針で、準備を進めています。開園から今日までの様々な実践を踏まえ、安心して子どもを生み育てることのできる保育環境の一環として、保育園の充実に努めます。

平成 15 年 2 月に介護保険事業計画を包括した高齢者の保健福祉に関する総合的な計画が策定され、これに添って継続した取り組みが行われています。計画では、高齢者が生きがいを持って安心して生活できる環境づ

くりや、要介護状態にならないために自らが主体的に取り組む心と体の健康づくり、また、利用者にとって充実したサービスを提供するための関係部署及び機関との連携による地域ケアシステムの構築などが当町の課題としてあげられてきました。新年度事業では、推進体制の整備、情報の提供、指導面の強化、支援事業の導入などをめざすとともに、地域に視点を置いた福祉ネットワークづくりを推進するために関係機関の連携に努めます。

統合病院・運営は「公設民営」の方向

鷹巣阿仁地区の地域医療を担う統合病院の建設計画については、関係町村長による正副管理者会議において専門的分野からの意見集約も必要であるという話し合いから、地域の医師等で構成する病院統合検討協議会が設置され、同会議は、これまで3回開かれており、現在も協議が継続されています。

新病院の運営は民間に委託する「公設民営」の方向

が提示されており、病院形態は地域医療支援病院とする案が検討されていますが、地区座談会でも、新病院のありかたに対しては、大変高い関心が示されていますので、地域要望を大切にして、これからの協議に参画して行きます。

新病院の建設にあたっては現病院の累積欠損金の処理方法など、多くの課題も残されていることから、議員の皆さんとも相談しながら総合的に判断し、住民の理解が得られるように、さらに検討を重ねる必要があるものと考えています。

パワーリハビリ体制で介護予防

町内から出される使用済みの廃食用油のリサイクルについては、4月中旬に全てのごみ集積所への収集容器の設置を予定しています。また、家電リサイクル法の対象品目に電気冷蔵庫が加わります。(17ページ参照)

今後、広報等で周知を図ってまいりますので、「美しい町 合川」が環境対策においても他の規範となれますように、さらに町民運動の

盛り上がり期待いたしています。

介護サービスの需要が高まるにつれて予測される介護給付費の増加は、介護保険の適正な運営上、急務的な課題です。虚弱高齢者の増加や、介護度の重度化を予防する介護予防事業の強化が重要であり、その対策として、健康づくり運動や機能訓練事業の効果的な推進を図ります。特に16年度は圏域においても十分に整備されていないパワーリハビリ体制(虚弱高齢者の機能訓練)を切り口に、全町民の介護予防に共通する体力づくり、生活習慣病予防等の観点からも、町民要望の高い専門指導者の確保、運動機器の整備などに取り組みたく、県機関等に要望を重ねており、採択され次第、年度途中での予算化をめざします。

なお、4町合併、病院統合等の動きの中で、当町がこれまで多角的に推進してきた健康づくりの各事業についても、再点検が行われることが予想されますので、サービスの低下にならないように留意し、地域の健康課題に対応した特色ある保健活動の方向性を見据え、提言していきます。

農業法人の事業開始は7月1日

米政策改革大綱が改正され、平成16年度から18年度までの実施期間で、生産調整方式が米を作らない面積の配分から米を作る面積・数量の配分に変わりまし

た。転作補助金も全国一律の要件・単価による交付から、地域自らの発想・戦略で作成する計画に基づく交付になり、全国とも補償制度は廃止になります。さらに稲作経営安定対策が稲作所得基盤確保対策に変わり、担い手経営安定対策が創設され、過剰米処理の方法も変わります。

16年の当町への作付け割り当て面積は902・3畧で、生産調整目標面積は436・2畧となり、15年と比較して27・7畧の緩和となっています。

こうした改正に対応するため、JAあきた北央と当町、森吉町、阿仁町、上小阿仁村の4カ町村で、阿仁部地域水田農業振興協議会を設置し、米を取り巻く環境の変化に即応できる米づ

くりを通じて水田農業経営の安定化を図りたい考えで、集落組織の協力を得るなどして各農家への周知に努めています。

農業従事者の減少と高齢化による担い手不足は、地域全体の農業生産に深刻な影響を与えるものと懸念されています。その対策として広域農業法人「アグリほくおう」の設立をめざしており、同法人の事業として、農作業の受託、担い手経営者支援、担い手確保支援事業による就農志向者の施設を活用した技術習得支援、比内地鶏育雛(いくすう)事業及び飼育事業などが計画されています。事業開始時期は平成16年7月1日とし、出資者はJAあきた北央、当町、森吉町、阿仁町、上小阿仁村、農業者2人で、当町の出資額として100万円

を16年度当初予算に計上しています。行政機能と民間活力が円滑に結び付いて、地域の農業の未来を支える基幹的な機能が構築されるものと期待しています。

JAあきた北央では昨年10月年間処理能力20万羽の比内地鶏製品製造施設を建設し、本格操業に入っています。同施設の平成15年度の処理計画は11万羽で、それを平成17年度には20万羽までに増やす計画ですが、現在、県農業公社の比内地鶏雛(ひな)の供給能力は17万羽ですので、JAでは、独自の雛の供給施設を建設したいとの意向で、関係機関との協議が重ねられています。



虚弱高齢者の機能訓練のためのパワーアップ教室



平成19年度国体に向けて町民体育館の増改修を行います

て94万4000円を16年度予算に計上しています。

西地区農業集落排水事業処理施設の全体実施計画は、毛管浄化システムによる処理方式で、平成12年度事業として実施済みであります。

処理方式の再検討が必要との意見があり、平成15年6

月定例町議会で産業建設常任委員会が山内村処理施設の現地視察を実施されております。

以来、県内の各施設の事業費と維持管理費の検討を重ねてまいりました。その結果、事業費は農業集落排水協会型が安く、維持管理費については町内9処理区と同様の処理方式が経費の節減になるとの結論から、処理方式を農業集落排水協会型に変更することとし、その変更にかかわる所要額を16年度予算に計上しています。

今年度から新たに合川町ふるさと森（もり）活性化事業（町単造林関係事業）実施要領を制定し、造

ました。比内地鶏素雛（もとびな）施設と飼育ハウス10棟を上小阿仁村地内に建設し、年間素雛（もとびな）供給を5万羽、飼育羽数を9800羽とする計画で、事業費は8244万円と積算されています。一連の事業は、農産品の販売戦略の一環として位置付けられ、地域農業の振興策であるとともに、雇用環境に結びつく側面もあり、事業費の内300万円を4町村で補助したいと考えて、当町分とし

林保育事業に対して助成を行いたいとの考えで、所定の補助金を16年度予算に計上しています。この事業は、森林が公益的機能と多面的機能を発揮し、さらには林業の雇用機会の創出にも結び付いてほしいとの期待から取り組むものです。

住みやすい生活環境の整備を

地拵（じごしらえ）・植栽につきましましては、森林所有者の負担が大きい苗木購入費に対して10町当たり費用の70%を上限として助成を行ない、下刈り・除伐・枝打ち・間伐についても、

水士（すいし）の保全及び循環型利用の育成を目的に、森林施設計画の策定に基づく事業については、国県の補助に町の補助を加えて基準費用の80%までの補助にしたいと考えています。

特に間伐事業については、実質的には事業経費の自己負担がほとんど無い状況になりますので、この事業が積極的な活用され、ふるさと森（もり）の整備が計画的に進められますよう、制度の紹介に努めます。

町単工事は、町道改良舗装工事4カ所、側溝改良工事5カ所、排水路整備工事3カ所の計10集落12カ所を予定し、工事費1000万円を16年度予算に計上しています。この事業は、町民の声をできるだけ町づくりの反映させたいとの願いから、各集落組織でとりまとめたいただいた要望の中から必要度の高い場所などを検討し、予算化に努めたものです。今後とも、町民生活優先の視点で住みやすい生活環境の整備に努めます。

なお、県事業にかかわる各集落からの要望事項については、一つひとつの要望について現場で確認しており、順次取り組みを図っていただくよう、さらに要望を続けていきます。

町道李岱・芹沢線では、李岱から東根田までの延長680mについて舗装改良工事を実施します。李岱集落内は、平成15年度の農業集落排水事業管路工事で全面復旧が行われる予定ですので、李岱県道交差点を起点として東根田入口までの区間が整備されることとなります。

町道東根田・下杉線は、平成8年度に東根田から新田目まで延長約2000mの整備に着手し、平成15年度で完了することになっております。新田目から下杉までの路線整備は、阿仁川への架橋と、その先の道路改良工事が最大の懸案となります。今後、事業採択に向けて道路概略設計、道路予備設計などに取り組むとともに、関係機関への要望を重ねてまいります。

統合簡易水道施設整備事業で進めている上杉赤坂の配水場から森吉町大野岱地内の浄水場予定地までの送・配水管布設工事は、計画延長4500mのうち15年度末で3289mの整備を完了し、残延長の1211mの内900mを16年度で整備する予定です。また、浄水場と共同導水路等の建設は森吉山ダムからの導水計画によって進められていますが、建設費の増高と利水情勢から判断すると、水道事業の財政負担が重くなることも予想されますので、森吉町とともに暫定取水等を含めた方法についても検討致し、早期に結論が得られるよう努力してまいります。

公共下水道合川浄化センターの工事では、処理槽躯体（くたい）工事を16年8月までに終え、年内には外構工事を行う予定です。管理棟の建築工事は、躯体地下築造の工事が行われており、年内には躯体工事を終え、機械設備・電気設備工事は、11月頃から試運転調整に入る予定です。管渠布設工事は、川井地区で補助分775m、単独分150mを予定しています。

県工事で、芹沢地内のバイパス工事が、平成16年度も橋梁工事が継続して行われる予定です。

北欧の杜公園中心の観光振興イベントを

国内の景気動向は、やや回復傾向にあるとされていますが、雇用環境は、依然として厳しい状況下にあります。引き続き商工観光課窓口を、求職者に対する相談や情報提供の場として活用いただくよう、関係機関と連携を深めながら対応してまいります。また、緊急雇用創出特別基金事業については、さらに離職者や若年層の雇用創出につながるよう努めます。

中心に県立北欧の杜公園を核としたイベントの構想が話し合われており、地元町としても、事業推進のために職員を派遣するなどして、その推進にあたっています。全国にこの地域を紹介する絶好の機会になるものと大きな期待が寄せられていますので、今後の動向を見守りながら協力体制も含めて検討していきます。

また、昨年開催された全国ラジコン飛行機大会についても、継続した開催の意向が伝えられていますので、北欧の杜公園に新しい魅力がもたらされるものと、期待いたしています。

学校給食

合川産米100%

学校新学習指導要領が完全実施され、そこで期待される最も大きな役割は、「生きる力」の育成であると認識しています。その具現のために、知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、豊かな人間性とたくましく生きる力を育んでいかなくてはならないものと考えています。また、学校をこれまで以上に地域に開か

れたものにすることも求められており、学校経営や教育活動を明確に説明できるようにするために、学校が思い切った学校経営・教育活動の計画を立案し実施できよう、支援していく必要があると考えています。

なお、都市部で起きている学校内の児童・生徒殺傷事件については、当町の置かれている状況を見極め、児童・生徒の安全管理のための対応について協議しています。

16年度の各小学校の新入学児童数は東小学校13人・西小学校8人・南小学校10人・北小学校19人で合計50人（昨年度より1人減）の見込みです。少子高齢化の進展は、学校運営にも影響を及ぼす状況となつていますが、児童生徒の学校活動に支障が生じないようできる限りの配慮を講じます。

合川町通学高校生寮については、今定例会に設置条例（案）を提出し、運営費補助金1647万2000円を16年度予算に計上しています。当面、主に合川高校生全体の全体的な募集活動に資するものと考えていますので、ご理解を賜りたいと思います。

長期山村留学「まどび学園」

は12年目を迎えることになり、これまで延べ80人が終園。15年度は5人が終園予定です。まどび学園の成果は、地域の多くの方々と共有できるもので、その一層の充実を期するものであります。山村留学の実施団体が増えたこと、都市部の少子化、景気低迷下の保護者の負担など、課題も多く、その状況は厳しいものがあります。これから、短期留学生等にも働きかけながらインターネットによる紹介、マスメディアの活用、説明会の開催等により、山村留学生確保に一層努力します。

学校給食の食材に町内産の米・野菜等農産物の使用を増やしたいとの考えから、各関係機関と話し合い、その推進にあたっています。

現在、米は合川産米100%、野菜はキュウリなど9品目を学校給食に取り入れています。生産と消費の調整、通年供給体制などについて、さらに話し合いを重ね、「おいしくて安心な合川産」を子どもたちに味わってもらい、地産・地消の拡大につながるように努めます。

社会教育計画は3年目を迎えますが、16年度は「心豊かなふるさと」の『創造』

と『活力』を育む生涯学習を旨として」という町の社会教育の基本理念に基づき、目的達成に向けた事業の展開を予定しています。具体的 な取り組みとしては、生涯学習講座の支援、読書活動の推進、ボランティア活動の推進、年代を越えた交流の場の充実、子どもの体験活動の推進、関係機関・団体で組織したネットワークの整備の促進などを網羅していますが、時代の要請に応えるよう努力し、幅広い町民の参画をいた、だいて事業を推進したいと考えています。

町民体育館

増改修工事に着手

平成19年国民体育祭に向けた準備について申し上げています。町民体育館の増改修については、3月中に実施設計が完成することから16年度に工事を実施したく、16年度予算に工事費4億2000万円を計上しており、できるだけ早期に施工したいと考えています。また、

た、国体までの年次計画は、健康保険診療所は、それらに対処するために、16年度は常勤医師の確保に全力で取り組みとともに、在宅医療体制確立のため往診車を更新し、在宅患者訪問診療・看護等の強化を図ります。また、保健センターとも連携して、健康づくりのための病氣予防学習と、定期検診の奨励を続けるなど、町の拠点健康施設としての努力を重ねます。

在宅患者訪問診療・看護等を強化

近年、要治療高齢者やその介護世帯員は、住みなれた地域や、家庭で治療を受けながら安心して暮らしたいという願望が強くなる傾向がみられ、健康管理相談、訪問診療、訪問看護などの充実した地域医療サービスが望まれています。町国民

健康保険診療所は、それらに対処するために、16年度は常勤医師の確保に全力で取り組みとともに、在宅医療体制確立のため往診車を更新し、在宅患者訪問診療・看護等の強化を図ります。また、保健センターとも連携して、健康づくりのための病氣予防学習と、定期検診の奨励を続けるなど、町の拠点健康施設としての努力を重ねます。

3月定例会 可決になった議案から

■合川町通学高校生寮設置条例

寮の利用料金などが定められました。利用料の上限額は、1室あたり一月につき3万円です。

■平成16年度当初予算

平成16年度当初予算については、広報次号で一般会計を中心にお知らせします。

鷹巣町・森吉町・阿仁町・合川町

4町合併でついに

法定協議会を設置

2月9日、鷹巣阿仁広域交流センターで4町合併協議会（＝法定協議会）発足についての調印式が行われました。

調印式に引き続いて開かれた第1回協議会で、岸部陸協議会長（鷹巣町長）は「地域の全員の英知を傾けて、新市づくりにがんばりましょう」とあいさつ。法律に定められた手続きによる協議がスタートしました。

4町合併については、昨年9月「鷹巣阿仁地域任意合併協議会」を設置。協議と並行して地域の18歳以上全員を対象にしたアンケート調査などが進められてきました。法定協議会への設置は、4町のそれぞれの議決によって行われたものです。

新市名称は公募して決定

第1回協議会では「合併期日は平成17年3月31日までを目標とする」「新市の名称は公募して協議会で決める」などの基本項目や、4町間の調整の方針などの話し合いが行われています。新市誕生に向けた日程（目標）の協議では、新

市建設の基本になる『まちづくり計画』を8月までに取りまとめることにしています。（詳しい内容が、この広報と一緒に配布される「合併協議会だより」に掲載されています）



たくさんのカメラの下、緊張の調印式

介護保険被保険者証を交換します

介護保険制度も5年目を迎えようとしています。65才以上の方にお配りしました介護保険被保険者証（緑色）の有効期間が3月31日までとなっています。

下記の通りみなさんの集落に出向いて、新しい保険証（オレンジ色）と交換します。保険証と印鑑を持参してください。

日程	時間	集落	実施場所	日程	時間	集落	実施場所
3月15日（月）	9:00～9:45	杉山田	杉山田集会施設	3月16日（火）	9:00～9:45	上杉	上杉あいターミナル
	10:00～10:45	雪田	雪田集会施設		10:00～10:45	桃栄	桃栄児童館
	11:00～11:45	鎌沢	鎌沢生活改善センター		11:00～11:45	下杉	下杉児童館
	9:00～9:45	三木田・摩当	三木田多目的集会施設		9:00～9:45	梅栄	梅栄児童館
	10:00～10:45	三里・大内沢	三里担い手センター		10:00～10:45	川井	川井公民館
	11:00～11:45	東根田・芹沢	東根田集会施設		11:00～11:45	松ヶ丘	松ヶ丘児童館
	13:30～14:15	西根田	西根田生活改善センター		13:30～14:15	弥栄	弥栄児童館
	14:30～15:15	羽根山	羽根山活性化施設		14:30～15:15	美栄	美栄集会施設
	15:30～16:15	羽立	羽立児童館		15:30～16:15	金沢・大野台駅前団地	金沢公民館
	13:30～14:15	李岱・明田	勤労者福祉研修施設		13:30～14:15	八幡岱・林岱	八幡岱集会施設
	14:30～15:15	新田目・福田	新田目児童館		14:30～15:15	木戸石	木戸石児童館
	15:30～16:15	道城	道城児童館		15:30～16:15	増沢	増沢集会施設
介護保険についてのおたずね先 役場福祉課（☎78-2113）				3月17日（水）	9:00～17:00	合川	役場福祉課

広報の アンテナ

元気にオニは外!

あいかわ保育園節分施設訪問

2月4日、あいかわ保育園の園児たち45人が、軽費老人ホーム大野台エコーハイツを訪れ、節分の豆まきをして入所しているお年寄りたちと交流を深めました。

この施設訪問は、旧北保育園が節分のころに合わせて毎年行っていたもので、統合後のあいかわ保育園でも継続して行われました。

豆まきの前には、園児たちが歌や踊りを披露。また、お年寄りに肩たたきや園児手づくりのひな人形がプレゼントされ、大変喜ばれていました。



泣き虫オニをやっつける!

みんなで励まし合ってがんばりました



少数だけががんばっています

合中女子スキー部

2月5日、この冬の各種大会で素晴らしい成績をおさめた合中中学校女子スキー部の皆さん(鈴木美由子さん、3年・御処野光沙さん、伊藤史織さん、1年)が役場を訪れ、大会の報告を行いました。

部員数3人ながら、全県大会(阿仁町)のリレーは3位。鈴木さんと御処野さんは、東北大会(岩手県)、全国大会(新潟県)に出場し、鈴木さんは全国大会女子3キフリーで3位に入賞されました。3人は、3月、鹿角市で開かれるジュニアオリンピック大会にも出場されます。

北欧の杜公園でさわやか汗を

県民歩くスキーの集い

2月22日、北欧の杜公園で県



北欧の杜ウインターゲームの出場者モスタート



ひと休み...

民歩くスキーの集いが行われ、県内外から450人が参加しました。(表紙写真) 好天に恵まれた当日の様子を、写真で紹介します。



公園の自然を満喫しながら...



完走後の賞品抽選会もお楽しみの一つ

あなたの一票を大切に...

町議会議員選挙の投票日は3月28日(日)です

合川町選挙管理委員会では、任期満了に伴う町議会議員選挙を、県の統一選挙の日程に沿って、3月23日告示、3月28日投票と決定しました。

あらかじめ

入場券が送付されます

投票日前に選挙人名簿に登録されている人に、投票所の入場券が送付されます。投票場所をお確かめください。選挙人名簿に登録されるには、次のような要件を満たすことが必要です。

◇年齢 投票日現在で20歳以上の人
(昭和59年3月29日以前に生まれた人)

◇住所 平成15年12月22日以前から引き続き町内に居住し住民登録されている人

※「選挙権があるはずなのに入場券が届いていない」「入場券を紛失してしまった」という場合は、選挙管理委員会までご連絡ください。

期日前投票を

ご利用ください

従来、役場内で行っていた不在者投票が期日前投票に変わります。投票用紙を直接投票箱に入れますので簡単になりました。

また、従来は、投票日当日に住所がなければ選挙権は失われましたが、期日前投票期間中に町外に転出される方でも期日前投票をしてからの転出は有効となります。

期日前投票は告示日の翌日(3月24日)から投票日の前日(3月27日)までの、午前8時30分から午後8時まで役場で行うことができます。

不在者投票を

ご利用ください

不在者投票には他の市町村の選挙管理委員会で行う場合と指定病院や指定施設で行う場合があります。

他市町村の選挙管理委員会で行う場合

町外に滞在されている人は請求に基づき、本人に投票用紙等が郵送されます。これを滞在先の選挙管理委員会に持って行き投票します。郵便の中には投票用紙のほか、開封厳禁の証明書などが入っていますので、同封の注意書きをよく読み、誤って無効とならないよう十分注意してください。

指定病院や指定施設で行う場合

不在者投票のできる指定病院・施設では病院長や施設長に申し出れば、不在者投票に必要な一切の手続きをとってくれることになっています。

◎立候補手続等説明会のお知らせ

◇日時 3月9日(火) 午前10時から

◇場所 合川町役場大会議室

立候補を予定されている方および関係者が、ご出席くださいますようお願いいたします。

合川町選挙管理委員会 (078) 2100()

なつかしい 笑顔がいっぱい

第39回首都圏合川会総会



1月24日、都内（千代田区アルカディア市ヶ谷）で、第39回首都圏合川会の総会・親睦会が開かれました。同会の集いは、毎年1月に開かれており、今年は約180人が出席。会場では「合川町出身者であることに誇りを持ちましょう」を合言葉にして、ふるさとの話題に花が咲いていました。

和田吉次会長が「今年は景気が回復し、会員が自慢できる町づくりが進むことを期待します」とあいさつ。北朝鮮による拉致疑惑が持たれている松橋恵美子さん（三里）のご両親に支援金を贈ったことなどの報告がありました。

佐藤合川町長は「4町合併などの町の課題に、首都圏からもご助言・ご支援をお願いします」とあいさつ。あいかわ保育園への備品（テント一式）の寄贈などについてのお礼を申し述べました。

笑顔いっぱいの会場の様子をご覧ください。



安全運転37年

首都圏合川会

佐藤さんに大臣表彰

昨年10月28日、国土交通省庁舎で行われた同省関係の表彰式で、佐藤茂夫さん（埼玉県鶴ヶ島市住・上杉出身）が大臣表彰を受けられました。

佐藤さんは37年間にわたってタクシー会社に勤務。その間、無事故無違反で都内の全業務運転手の中から「模範勤務」によるただ一人の栄誉に輝かれたものです。佐藤さんから「『無事は名馬』を人生訓に、これからもがんばります」とのメッセージをいただきました。



大臣表彰・おめでとうございます

町職員の給与についてお知らせします

1. 人件費・職員給与費（人件費は、平成14年度一般会計決算・給与費は平成15年度一般会計予算から）

人件費	歳出額	人件費	人件費率	前年度人件費率		
	6,431,655千円	895,619千円	13.9%	16.9%		
給与費	職員数	給 与 費				一人当たり給与費
		給 料	職員手当	共済費	計	
	95人	388,431千円	220,221千円	192,621千円	801,273千円	8,434千円

（注）人件費には、特別職（議員含む）に支給される給料、報酬などを含んでいます。

給与費は一般職の給与で、職員手当には退職手当は含みません。

2. 職員手当

期末・勤勉手当（平成15年度支給割合）			退職手当支給率		
	期末手当	勤勉手当		自己都合	勤奨・定年
6月期	1.55月分	0.70月分	勤続20年	21.0月分	28.9月分
12月期	1.70月分	0.70月分	勤続30年	41.3月分	54.5月分
計	3.25月分	1.40月分	勤続35年	47.5月分	62.7月分
			最高限度額	60.0月分	62.7月分

3. 平均給料月額・平均年齢

一般行政職	技能労務職
340,729円 45.5歳	342,292円 51.0歳

4. 初任給

大学卒	高校卒
171,500円	139,500円

5. 特別職報酬

区分	給料月額	期末手当	
町 長	766,000円	6月	1.70月分
助 役	596,000円	12月	1.80月分
収入役	553,000円	計	3.50月分
議 長	262,000円		
副議長	236,000円		
議 員	225,000円		

（平成15年4月1日現在）

6. 部門別職員数（臨時職員などは含みません）

		職員数		対前年 増減数	増減理由
		H15	H14		
一般行政	議会	2	2	—	
	総務	17	19	△2	総務減
	税務	5	5	—	
	民生	24	25	△1	福祉減
	衛生	8	8	—	
	農林水産	9	9	—	
	商工	5	5	—	
	土木	4	4	—	
特別行政	教育	13	13	—	
企業会計	病院	9	8	1	病院増
	水道	2	2	—	
	下水道	2	2	—	
	その他	4	4	—	
合 計		104	106	△2	

合川町職員の給与の実態について、平成15年4月1日現在での調査に基づきお知らせします。なお町職員の給与は条例により支給しており、給与制度は国に準じた制度になっています。

合川高校

さわやかな汗で 除雪ボランティア

2月19日、20日の2日間にわたって、1年生と2年生全員160人が、合川町社会福祉協議会、鷹阿広域消防署合川分署、合川派出所などの協力を得て、町内の消火栓、合川4区・6区・7区、川井、松ヶ丘、摩当、芹沢の一人暮らしの老人・老夫婦・障害者家庭22世帯の除雪ボランティアを行いました。

当日は、消防署の方の諸注意などを受けて各班に別れ、午前中ボランティア活動に励みました。2日間とも天候には恵まれましたが、雪が固まって重く、汗だくになりながら悪戦苦闘。やり遂げた顔にはさわやかな笑顔がありました。

【除雪ボランティアを終えて生徒の声】

萩原一也君（二年・増沢）

家でも除雪は手伝ってやっていますが、今日の雪は重く、また、ボランティアという事で張り切り過ぎ、終わった時は本当に死ぬほど疲れました。

櫻田彩香さん（二年・東根田）

除雪というボランティアを通して、地域の人々とのコミュニケーション

ヨンがたくさん取れました。最初は疲れると思っていた除雪作業もとても楽しく作業ができました。



がんばったね、除雪ボランティア

生徒と一緒に取り組んだ 研究成果が評価

2月13日に開かれた教育研究奨励賞の審査会（秋田県大館北秋教育振興会主催）で、広報11月号の当コーナーでお知らせした『レク活動って楽しい！』を研究課題にした介護福祉科教諭・工藤知佳子さん（写真上）の研究が、個人研究の部優秀賞に選ばれました。



佳子さん（写真上）

の研究が、個人研究の部優秀賞に選ばれました。

トピックス

むし歯なんてないも〜ん

1月22日に行った3歳児健診で、むし歯のない子は18人中11人（61%）でした。いつまでも白い歯輝く元気な子どもでいましょうね。



ともなり
土佐朋成ちゃん
（松ヶ丘）



こうよう
村形皇映ちゃん
（合川）



まいか
藤原舞香ちゃん
（松ヶ丘）



みく
斉藤未来ちゃん
（合川）



せいや
木村聖哉ちゃん
（李 岱）



かつひと
金田健仁ちゃん
（新田目）



みゆ
柴田美夢ちゃん
（合川）



かいと
成田海斗ちゃん
（大内沢）



あゆみ
平川歩未ちゃん
（李 岱）



しゅんた
工藤隼太ちゃん
（上 杉）



りょう
工藤遼ちゃん
（上 杉）

しろつ

No. 236



青年交流会

地域の枠を超えた交流を...

2月7日午後5時から、鷹巣中央公民館で「青年交流会」が開かれました。

この事業は大館市北秋田郡公民館連合会の「青年交流の集い」事業として行われたものです。今年度は合川町公民館が企画運営を担当しました。

交流会には5町村から14人の若者が参加し、鷹巣中央公民館長が「地域の枠を超えて交流する機会はないかなか得られないもの。気軽に楽しんで交流の輪を広げてください」とあいさつ。早速懇談に入りました。それぞれの自己紹介をしたあと、

この地域に残ったわけなどについて語り合いました。

けっこう気に入っているよ。
この町が。

参加された皆さんから、現在地域に残っている若者の声として、「現状に対して比較的満足している」との意見が多く、地元に残った主な理由としては、

- 長男・長女として家（家業）を継いでいく必要がある
- 親兄弟の側にいられ、親の老後の面倒がみられる
- 自然豊かなこの生まれ育った環境が、一番自分に適している

この交流会は、終始アルコールも含めたフリードリンク式で、初めての顔合わせにも関わらず、会話が弾んでいました。

- 参加者からは、
- こういう風な形ならまたやってもらいたい
- 自分たちで企画運営したいとの感想が寄せられました。

であい・ふれあい・学びあい

☆☆公民館冬期講座トピックス☆☆

おしゃれビーズ手芸講座



講師 金子友子さん

はじめての油絵講座



講師 新田チマさん

楽しく体力向上3B体操講座



講師 夏井紀子さん



公民館
図書室

ライブラリースポット

今月の新着図書紹介

☆一般書

「たったひとつのだからもの」

加藤 浩美

「医療事故がとまらない」

毎日新聞医療問題取材班

「百万遍上・下」

花村 萬月

「半落ち」

横山 秀夫

「NHKためしてガッテン7」

NHK科学・環境番組部編

「It (それ) と呼ばれた子」

幼年期・少年期・指南編

デイヴ・ペルザー

「13歳のハローワーク」 村上 龍

☆児童書

「まんじゅうこわい／平林」

桂 小南

「ブツコケ怪奇館幽霊の正体」

那須 正幹

「魔女図鑑魔女になるための」

11のレッスン

マルカム・バード

「とんとんとん！」

とをただくのはだあれ？」

サリー・グリンドレー

「はたらけいぬのすべて100」

内山 晟

☆寄贈書

「シベリア拘留を体験して 考えることは」

佐藤興市郎さん (川井)

澤地久枝著

「私のかかげる小さな旗」

ほか多数

茂木敦子さん

(東京都在住・木戸石出身)

ありがとうございます。

ゆうゆう文庫開設

三木田地区の下小阿仁郵便局内に公民館移動図書室「ゆう・ゆう文庫」ができました。一般書を30冊ほど置いてあります。こんな本がほしい、読みたいなどリクエストにもお答えいたしますので、どうぞご利用ください。



季節の一句

— 合川俳句会 —

陽だまりで何するでなし寒雀
予科練碑一夜を明けて雪化粧
いなびたる肩の重さよ針供養
節分の豆拾った子今遠く
一枚の沼幾百の軽鴨の群
良き話子供の声の春隣
娘へ手紙白津の山は雪と書く
旧正や仰げば月に雲もなし
またひとつ席空く句座の寒さかな
月冴えて孫の記念樹天をさし
陽だまりに交わす挨拶浅き春

第3回 ろばた講座のご案内

今年度最後の開催になります。隣近所お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

開催日 3月9日(火) 午後1時30分～

テーマ 「町長と語る会」

佐藤修助町長の講話と話し合いを予定しています



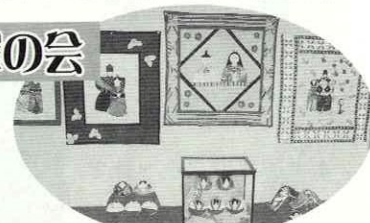
公民館ロビー展のご案内

農村環境改善センターロビーに、自主講座・サークル等で製作された作品を展示しています。どなたでもお気軽にご覧ください。

パッチワーク金木犀の会

代表 鈴木孝子さん

2月15日～3月15日展示中



※ 3月16日から「てまりの会」(代表 片山幸子さん)の作品が展示されます。

平成16年度の農村環境改善センターロビーに展示する作品を募集しています。詳しくは、公民館(78-2114)までお問い合わせください。



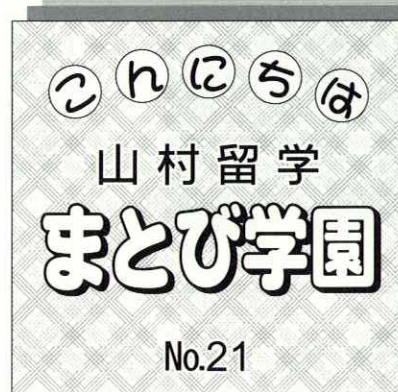
高谷 孝子
佐藤 勇助
菊地 奈津
杉渕みどり
土佐 隆歩
佐藤阿智子
佐藤 貴美
木村キクエ
桜田善太郎
島山 千ヤ
吉田 富美

1月、2月は、秋田ならではの活動を大いに楽しみました。

まずは、雪国合川だからこそそのスキー体験。冬休みに家庭に帰る時に全員が「休み中は、スキートレーニングをがんばるぞ」と張り切って、三学期のスキー活動を楽しみにしていました。学園に戻って、早速、その翌日からスキー練習を始めました。学園2年目の正法君、真理さん、航輝君の3人は、さすがにスキー操作も慣れたもの。初めてノルディックを体験する2人を前にスイスイと格好よく滑り、お手本となっていました。けれども、もう一度基本をしつかり身に付けようと、初心者の優仁君、高之君の二人と一緒に、福田指導員の指導のもと全員でスキーで歩く練習から始めました。

2日目、3日目と日を重ねる毎に段々と雪にも慣れ、寒さにも慣れ、そして、スキーにも慣れて、練習を始めてまだ一週間も経たないというのに、南小学校の仲間たちと一緒にコースを周るほどに上達していました。顔もつつすらと雪焼けして体も締まり相乗効果というのか、学園での生活にも張りが出てきました。以来、ずっと一日も欠かすことなくスキーを楽しんでいる園生たちです。

校内のスキー大会では、心配そうに家族が見



合川の冬を楽しんでいます

守る中、さつそうとコースを滑る園生たち。全員が全力でゴールテープを切りました。お父さん、お母さんをはじめ学校の先生方や地域の方々からも「がんばったね」と声をかけられて大変うれしそうな園生たちでした。また、真理さんと航輝君は、郡市スキー大会、阿仁部スキー大会と大きな大会に選手として出場。練習の成果を大いに発揮して活躍しました。

スキー三昧(ざんまい)の子どもたちですが、秋田の小正月も楽しもうと、男鹿のなまはげ紫灯祭、そして、大館アメッコ市を見学してきました。なまはげには、その恐ろしいでたちと雰囲気、はじめのうちは後ずさりしていましたが、中には近付いてなまはげが落としていった藁(わら)を拾い集め、お守りにすると持ち帰った子もありました。アメッコ市は、自分で



▲学園でのスキー練習



▲カゼをひかないように…
大館アメッコ市



なまはげ▶

計画を立て、合川駅から大館駅まで電車で乗り継いで行き、グループに分かれて自由行動を取りました。会場狭しと行ったり来たり、色とりどりの飴に感心しながら見て回りました。

スキーを楽しみ、秋田の伝統文化に触れ、合川ならではの貴重な体験を積んでいる園生たちです。

保健センターから

健康 メッセージ

126

!!もうすぐ春です!!

長い寒さに耐え、やっとめぐって来る
春に力強く芽吹く草木や花。素朴で
かれんな姿で、懸命に生きようとささやく。
私たちも様々な形で交流や活動を通し、
何事にも挑戦する意欲を持ち、
生きる活力を育みましょう!!



生きる力を育てよう

1月21日、保育参観を兼ねた講演会には乳幼児の保護者、民生児童委員、子育てサポーターなど70人が参加。講師の秋田森の会代表の佐藤清太郎さんは「自己の山林30畝を『健康の森』と命名し、高齢者やこどもたちが楽しく過ごせる森として開放している。こどもの生きる力をお手伝いすること」を基本に、自然観察、山菜取り、炭焼き体験、四季折々の森林浴、森の小さな生き物との対話などを行っている」と、多彩な交流活動を紹介してくださいました。

とかく禁止や指示語が多くなりがちな現代社会の中で、こどもの生きる力はどれだけ育てられるのか？参加者一同、改めて体験教育の大切さについて考えさせられていました。



佐藤さんの話にじっと聞き入るお母さんたち

真心弁当 ありがとうございます



私たちが真心込めて作ったお弁当です

食生活改善推進員の自主活動として、昨年に引き続き85歳以上の一人暮らし世帯、夫婦世帯、虚弱夫婦世帯を対象に、お弁当の宅配活動が行われました。12月から2月までの計3回、「心においしい、体においしい手作り料理」をモットーに、延べ60食をお届けいただきました。

昨年から交流がさらに深まり、喜びや感謝の気持ちが倍になって届けられています。感謝のメッセージの一部を紹介します。

佐藤キミさん（川井）

一句「はし袋開けば光る人の情け、町にも感謝、作る人にも感謝」いつもちようどよい味付けです。ありがとうございます。

募集しています

健康づくりの案内役～あなたも食生活改善推進員になりませんか？

食のボランティア「ヘルスメイト」の愛称で食を通して地域の皆さんと交流を深めています。平成15年度の活動として、高齢者へのふれあい一皿運動、レッツ！チャレンジクッキング教室、よい食生活を進めるための学習会、地場産を使った料理の工夫や開発、産業文化祭や食のフェスティバルへの展示、試食など幅広い分野で自主活動を展開しました。

【私たちの健康は私たちの手で】を合言葉に、一緒に活動してみたいと思う方のご応募をお待ちしています。

申込み先 食生活改善推進員事務局（保健センター☎78-4272）

自分で手をかけないでいろいろな料理が味わうことが出来るのでとてもおいく、ありがとうございます。ただくことが出来ました。ありがとうございます。本当にたくて涙がでてきました。本当にありがとうございます。

成田 環さん（川井）

ひとり親家庭生活支援講習会

■日時 3月14日(日)午後1時
～午後3時30分

■場所

鷹巣阿仁広域交流センター

■内容 「子どもを守るための役

立つ話」①養育費に関する知識

講師：弁護士・川田繁幸さん(大館市)

②子どもの成長としつけ

講師：北教育事務所家庭教育アドバイザー・宮野正子さん

※託児あります

■申込締切 3月8日(月)

■申込・問い合わせ先 町社会福祉協議会(☎78-3166)

ペット用の鳥を飼育している方へ

ペット用の鳥(鶏、あひる、うずら、七面鳥など)を飼っている人は、次のことを注意してください。

い。

○飼育しているペットをよく観察しましょう

○野鳥の鶏舎への侵入防止(防鳥ネットなどの活用)に努めましょう

○飼育者以外の鶏舎への立ち入りを禁止し、鶏舎入り口に踏込消毒槽を置きましょう

○飼育する鳥などに異常(短期間に高率死亡した場合)が認められた場合は、直ちに最寄りの獣医師、または秋田県北部家畜保健衛生所(☎62-2715)へご連絡ください

ペット用の鳥を飼育している方は、その種類、羽数、飼育環境などについて、町農業指導センター(☎78-4140)までご連絡ください。

福祉の資格と経験を活かしてみませんか

秋田県福祉保健人材センター(秋田市☎018-864-2880)

は、福祉施設などへ就職を希望し、求人情報の提供を希望する人に、本人の希望する雇用条件にあった職場を無料でご紹介します。

ホームヘルパー1・2級、介護福祉士、保育士、社会福祉士、社会福祉主事任用資格、児童指導員任用資格、ケアマネージャー、看護師、保健師、理学療法士、作業

療法士、栄養士などの資格をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

あきた北 自然体験ツーリズムシンポジウム

■日時 3月11日(木)午後1時
～午後4時(開場・正午)

■場所

たかのす風土館ファルコン

■内容

【基調講演】

「富士山から日本を変える」講師：アルピニスト・野口健さん(写真右)



【パネルディスカッション】

「観光における自然体験ツアーの実践手法について」

○パネリスト：あさひの森代表・油井日出男さん 企業組合AVN

代表・滝川望さん (財)日本交通公社研究員・久保田美保子さん

○オブザーバー：アルピニスト・野口健さん

○コーディネーター：(株)東北地域観光研究室代表・志賀秀一さん

■問い合わせ先 入場は無料です。ただし、入場整理券が必要です。整理券は、役場商工観光課(☎78-2115)にあります。

国民年金の保険料はコンビニエンスストアでも納付できます

社会保険庁では、皆さんが国民年金の保険料を納めやすい環境づくりの一つとして、コンビニエンスストアでも納付できるよう窓口を拡大しました。

これにより、金融機関や郵便局が休業日の土曜日や日曜日のほか、出勤前の朝早い時間や、帰宅途中の比較的遅い時間でも保険料を納めることができます。

ただし、コンビニエンスストアで納付できるのは、平成16年2月以降に発行された納付書に限られます。それ以前の納付書については、ご利用いただけませんのでご注意ください。

なお、平成16年度(平成16年4月分～平成17年3月分)から使用していた納付書は、平成16年4月上旬ころに皆さんのお手元に届く予定ですが、その新しい納付書はコンビニエンスストアで納付することができます。

納付できるコンビニエンスストアなど、詳しくは役場福祉課(☎78-2113)までおたずねください。

廃食用油の 回収方法が変わります

4月から、廃食用油（天ぷら油）は、月1回、ごみ集積所での回収になります。3月中に平成16年度のごみカレンダーを各世帯に配布しますので、排出日の朝8時までに出してください。ごみ集積所には、20ℓ入りのポリ缶を設置します。詳しくは、役場保健課（☎78-2113）までおたずねください。

電気冷凍庫も 家電リサイクル法の 対象になります

これまで、家電リサイクル法の対象は、冷蔵庫・洗濯機・テレビ・エアコンの4品目でしたが、平成16年4月から、電気冷凍庫が新たに加わります。一般廃棄物や粗大ごみとして出すことができなくなりますのでご注意ください。

なお、料金は冷蔵庫と同じです（リサイクル料金（4,600円＋消費税）＋収集運搬料）。詳しくは、役場保健課（☎78-2113）までおたずねください。

❖忘れないで！家電リサイクル券❖

家電リサイクル法に基づいて回収される廃家電は、それぞれに家

電リサイクル券が発行されます。家電リサイクル券は、家電メーカーにきちんと引き渡され、リサイクルされたか確認できる大切な控えです。必ず受け取ってください。

予備自衛官補を 募集します

予備自衛官補とは、自衛官未経験者が必要な教育訓練を受け、教育終了後に予備自衛官となる制度です。予備自衛官は、普段は学生や社会人としてそれぞれの職業に従事し、訓練を受けながら有事の際には防衛招集により後方支援などの任務にあたります。応募期間は4月9日（金）まで。詳しくは、自衛隊秋田地方連絡部大館出張所（☎0186-42-1398）までおたずねください。

乾燥秋田スギ柱材 プレゼント

秋田県では、秋田スギへの理解を深めていただくため、住宅を新築する人に「乾燥秋田スギ柱材」をプレゼントしています。募集期間は3月1日（月）から19日（金）まで。詳しくは、あきた県産材利用センター（☎018-837-8095）または役場農林課（☎78-2115）までおたずねください。

あいかわ保育園の 臨時職員を 募集します

■募集職種・人員

- ①保育士（保育士資格を有する人） 1人
- ②運転手（大型自動車免許を有する人） 1人
- ③調理員（調理師免許を有する人） 1人

■採用期間 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

■採用方法 資格審査と面接（期日はおって連絡します）

■応募方法 あいかわ保育園に所定の用紙でお申し込みください

■提出書類 申込用紙・履歴書・健康診断書・免許の写しなど

■受付期間 3月12日（金）まで

■応募・問い合わせ先 あいかわ保育園（☎78-9030）

鷹巣阿仁広域消防合川分署に
高規格救急車が導入されまし
た



ーお待ちしておりますー

ひまわりの家

営業時間

午前8時30分～午後7時

休館日 1日、8日、15日、
22日、29日

【問い合わせ先】

ひまわりの家（☎78-4025）

広報 クイズ

次の問題の？にあてはまる数字やことばを考えてください。答えは、広報月号の中にあります。

問1 町議会議員選挙の投票日は？月？日です

問2 1月22日に行った3歳児健診で、むし歯のない子は？人でした

問3 4月から家電リサイクル法の対象品目に？？？？？が加わります

締め切り＝3月15日（必着）

応募方法＝答え、住所、氏名を明記してハガキ・ファックス・Eメールで応募してください

応募先＝合川町役場（住所・郵便番号・ファックス番号・Eメールアドレスは、広報の最後のページをご覧ください）

正解者の中から、2人に500円相当の図書券をお送りします。

【前号の当選者】仲村 律子さん（合川）
工藤 トミさん（上杉）
（応募者4・正解者4）

※広報に関するご意見、ご感想をお寄せください。また、お便り、イラストなどもお待ちしております。

慶弔 だより

(1月届け)

【お誕生おめでとうございます】

こども 両親
沢藤 伶ちゃん 徹さん (木戸石)
明子さん
三浦 一誠ちゃん 重人さん (三木田)
圭子さん
小松 心ちゃん 博美さん (李岱)
亜希子さん

【ご結婚おめでとうございます】

(清水 道広さん (鎌沢)
鈴木 陽子さん (鷹巣町)
七尾 正仁さん (梅栄)
長岐 亜弓さん (鷹巣町)

【謹んでお悔やみ申し上げます】

伊東 末子さん 90歳 杉山田 紀喜さんの母
芳賀福太郎さん 82歳 桃 栄 健一郎さんの父
櫻田 鞠子さん 87歳 東根田 助十郎さんの母
村岡 磯治さん 85歳 八幡岱 本人
福岡カツ工さん 87歳 永楽苑 本人
高橋恵美子さん 48歳 愛生園 本人
成田清二郎さん 66歳 李岱 節子さんの夫
福岡留之助さん 85歳 三里 キサさんの夫
松井 ツタさん 90歳 福田 照一郎さんの母
工藤 栄一さん 55歳 上 杉 信仁さんの父
成田為太郎さん 92歳 永楽苑 本人

まち

平成16年1月末日現在

男 3,783人(3人減)

女 4,188人(増減なし)

計 7,971人(3人減)

世帯数 2,965世帯(2世帯減)

※広報に載せてほしくない人は、届け出の際、戸籍係にお話ください。

合川町役場総務課

〒018-4272

秋田県北秋田郡合川町新田目字大野82-2

☎ 0186-78-2100

FAX 0186-78-3277

ホームページアドレス

<http://www.town.aikawa.akita.jp>

Eメールアドレス

soumu@town.aikawa.akita.jp

広報あいかわ

No.548

平成16年3月1日

3月の広報カレンダー

保セ=保健センター
町体=町民体育館

農セ=農村環境改善センター
保育園=あいかわ保育園

日	曜日	行 事 な ど	診療所
1	月	ヘルシークラブ (a.m10:00~保セ) パワーアップ教室 (a.m10:00~保セ)	
2	火		
3	水	2歳児歯科健診 (p.m0:30~保セ)	診療日
4	木	ポリオ投与 (p.m1:30~保セ)	診療日
5	金	あいあい体験保育 (a.m9:00~保育園) パワーアップ教室 (a.m10:00~保セ)	診療日
6	土		
7	日		診療日
8	月	ヘルシークラブ (a.m10:00~保セ) *	
9	火	ろばた講座 (p.m1:30~農セ)	
10	水	新入園児健康診断・入園説明会 (a.m10:00~保育園)	診療日
11	木		診療日
12	金	ふれあい広場 (a.m9:30~保セ)	診療日
13	土		
14	日		診療日
15	月	ヘルシークラブ (a.m10:00~保セ)	
16	火	ダンディ倶楽部 (a.m10:00~)	
17	水	育児相談【5~6ヵ月児】(a.m9:30~保セ)	診療日
18	木	リハビリ学級 (a.m10:00~保セ)	診療日
19	金		診療日
20	土	春分の日 第22回小林大二郎旗杯争奪小中学校剣道大会 (町体)	
21	日	あいかわ保育園卒園式 (a.m9:00~保育園)	診療日
22	月	ヘルシークラブ (a.m10:00~保セ)	
23	火		
24	水		診療日
25	木		診療日
26	金	ふれあい広場 (a.m9:30~保セ)	診療日
27	土		
28	日		診療所
29	月	ヘルシークラブ (a.m10:00~保セ)	
30	火		
31	水		診療所